

## 令和7年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立新宿小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・6年生は、区の平均値とほぼ同等の値となった。他学年は下回っているものの、評定別人数比を見ると、平均以上の値を取っている児童が区よりも多い。
- ・思考・判断・表現と活用の値が他に比べて高い傾向にある。これは、一人一人が立てた予想を基に実験を行い、結果から考察する授業を、校内研究等で行っていたため、思考力の向上に繋がったと考えられる。

#### (2) 課題

- ・観点別正答率を見ていくと、どの学年も知識・技能のポイントが他の観点よりも低くなっている。そのため、観察・実験の後、ICT等を活用し、知識・技能の定着を図っていく必要がある。
- ・本校は、理科実験や観察が比較的好きな児童が多いものの、生活経験に基づいた思考が不足していたり、その主体性が知識・技能の定着に繋がっていなかったりする。そのため、目的意識をもって考えさせたり、それに必要な知識・技能を定着させたりしなければならない。引き続き、ICTを活用した効果的な学習を進めると同時に、学習のポイントを明確に示したり、児童の理解度を確認したりしながら授業を展開していく。そのために、学んだことを確実に定着させるために、一人一実験を実践していく。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	・目標値との比較：▼ ・区平均との比較：▼	/	/
第5学年	・目標値との比較：▼ ・区平均との比較：▼	・目標値との比較：▼ ・区平均との比較：≒ (第4学年時)	/
第6学年	・目標値との比較：▼ ・区平均との比較：≒	・目標値との比較：▼ ・区平均との比較：≒ (第5学年時)	・目標値との比較：△ ・区平均との比較：△ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を下回っている。</li> <li>・物質・エネルギー、生命・地球の領域共に目標値を下回っている所から、動植物の成長や実験道具の扱いなどを理解の定着が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を下回っている。</li> <li>・問題に対する予想・仮説を基にした観察・実験の方法を発想する力や結果から考察する力を養っていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科への関心をより高めるために、児童が主体的に学習に取り組めるようにしていく必要がある。</li> </ul>

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5、6年ともに、目標値を下回っている。</li> <li>・ 6年生に焦点を当てると、特に天気と顕微鏡の使い方の方の単元の正答率が低い傾向である。</li> <li>・ 5年生はどの領域においても低い傾向があるため、領域問わず、知識・技能の定着を確実なものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生は、目標値を下回っているが、6年生はほぼ同等となっている。</li> <li>・ 6年生に焦点を当てると、特に電気のはたらきの単元の正答率が低い傾向である。</li> <li>・ 5年生は、物のあたたまりの方の単元の正答率が低い傾向である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理科への関心をより高めるために、児童が主体的に学習に取り組めるようにしていく必要がある。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人が実物を用いて実験するなど実体験の機会を多く設け、重要な語句と様々な事象を体験的に結び付けることができるようにしていく中で知識・技能の定着を図っていく。</li> <li>・ 既習事項においても、日常的に振り返ったり ICT の活用をしたりすることで知識・技能を確実なものにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めて理科を学習する3年生には、学習の流れやノートの書き方をはじめ、理科における見方・考え方などを丁寧に指導していく。</li> <li>・ 予想を基にして実験の方法を考えさせたり、結果の見通しをもたせたりすることで、科学的に考える力を養っていく。</li> <li>・ 予想や考察の時間を確保し、自分の考えを交流することで、記述の仕方を理解したり他者の考えにふれたりしながら思考を広げ、深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校の特色を生かして、年間を通して継続的に自然事象や生き物に目を向けようとする姿勢を養っていく。</li> <li>・ 児童が主体となって学習問題を作っていくように時間を確保し、見通しをもって観察・実験を行ったり、観察・実験の結果を基に考察したりすることで、次の問題を発見したり新たな視点で自然事象や生き物を捉えられるようにする。</li> </ul>

### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校の特色を生かしながら、観察を行っていく。</li> <li>・ 観察や実験において、実験器具の正しい使い方をおさえていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活経験に基づいたり、複数の自然物の事象・現象を対応、比較させたり等、様々な視点から根拠のある予想を立て、実験・観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然事象への関心を高めるために、ICT 活用と合わせて、長期的に天気の観察を行っていく。</li> <li>・ 自分で実験計画を立てられ</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 観察や実験したことを基に、ICT 等を活用しながらデータや映像を提示し、知識・技能の補充を行っていく。</li><li>・ 実験方法や手順など目的意識をもって取り組めるよう指導していく。</li></ul>	<p><b>に取り組めるようにする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実験・観察・結果から考察させる過程を大切にし、指導を行う。実験結果から繋げさせたり、比較させたりするなど、考察したことを分かりやすくまとめていく力を身に付けさせる。</li></ul>	<p>るように、必要な器具や実験方法を考える時間を十分に確保し、実験・観察・考察を行うことで、既得の知識をつなげたり、新たに獲得した知識を次の学習や日常生活で働かせたりすることができるようにする。</p>
---	---	--